

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立 門司障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市門司区大字畑1808番地		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/>	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/>	
指定管理者	名 称	社会福祉法人あすなろ学園		
	所 在 地	北九州市小倉南区大字新道寺1100-1		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（施設入所支援、生活介護、就労継続支援（B型））の管理運営。		
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		40
(1) 施設の設置目的の達成		25	4	20
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
【利用率】 (単位：%)				
年度	【参考】R2年度(更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	100	100	100	100
実績	84.3	86.7	83.7	86.3
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）				
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）				
①・利用率は僅かながら増加しており、高い利用率を維持している。 利用者家族の多様なニーズに対応すべく、多機能型施設の特徴を最大限活用し、日中一時支援と短期入所を受け入れている。 昨年度から短期入所の実人数は67人から110人と大幅に増加しており、総利用日数も403日から520日に増加している。日中一時の実人数は69人から93人に増加しており、総利用日数も358日から432日に増加している。				
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】 (単位：円)				
年度	【参考】R2年度(更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	15,000	9,200	9,500	9,800
実績	8,219	9,498	8,000	9,600
<ul style="list-style-type: none"> 工賃については、目標値に届かなかったものの昨年度に比べ上昇している。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、バザーや各種イベントに積極的に参加することによって工賃の上昇に努めている。 新規事業の獲得に成功することで、利用者個々のニーズ、就業能力に合わせた作業の見直しとステップアップに繋げている。 				
②・広報誌の発行（年間3回）を実施し、インスタグラムでの活動配信を行った。利用者の活動や行事の様子などを配信することで、家庭や地域の関係機関にセンターでの取り組みを知ってもらうとともに、利用者の様子を身近に感じてもらえるようにし、利用者家族からも施設内の様子が見ることができるよう好評を得ている。				
③・個別支援計画に基づき、支援を進めており、新型コロナウイルス感染症が5類移行				

したため、余暇活動の充足にも力を入れている。特に「食」に重点を置いて取り組み、ものづくり活動を通して利用者の支援を行い、達成感や生活を送る上でのモチベーションの向上に努めている。

- ・利用者とのコミュニケーションは、利用者の特性に応じてコミュニケーションカードやジェスチャー等を用いて、視覚的に支援を行っている。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	25	4	20
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。			
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

施設の総合評価

【満足度】

(単位：%)

年度	【参考】R2年度(更新前)	R3年度	R4年度	R5年度
実績(入所)	89.3	89.2	86.6	94.9
実績(生活介護)	78.1	86.6	85.1	80.2
実績(就労支援)	90.2	89.2	83.9	91.5

- ① 北九州市が実施したアンケートの結果、施設の各サービスの、「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、88.9% (入所者94.9%、生活介護80.2%、就労支援91.5%) であり、全体としては利用者の満足度は高いものとなっている。
- ② 昨年度から通所の送迎場所までの家族の送り出しやお迎え等が困難な状況にある方について、出来る限り家族の負担を軽減するために、「ドア to ドア」のサービスを実施しており、利用者との協議により不規則な送迎の利用であっても対応している。
- ③ 苦情に対して適切に対応していくため、苦情解決委員会を定期的を開催し、内容を的確に把握し、第三者委員に報告等を行っている。
- ④ 連絡ノートで利用者保護者と情報を共有し、必要に応じて個別に相談・対応を行い、利用者への情報提供と共有を行っている。
 - ・感染症の情報については、事業所からの「お知らせ」を各家庭に配布し、感染状況を随時周知しており、個別の案件については、電話等で丁寧に説明を行っている。
- ⑤ 利用者自治会の運営をサポートし、意思表示支援を心がけており、地域行事への積極的な参加やボランティア活動や買い物代行支援等の地域貢献を行うことで地域との共存を図っている。また、こういった活動を通して利用者の「やりがい」「楽しみ」につなげている。

2 効率性の向上等に関する取組み	15		9															
<p>(1) 経費の低減等</p> <p>① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>	15	3	9															
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>【光熱水費】 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="264 696 1310 846"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>【参考】R2年度(更新前)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算</td> <td>19,800</td> <td>18,950</td> <td>19,000</td> <td>20,449</td> </tr> <tr> <td>決算</td> <td>22,163</td> <td>20,373</td> <td>22,464</td> <td>20,894</td> </tr> </tbody> </table> <p>②・「事務費・事業費 - 3%」削減を目標に掲げ、入札や再委託を行うことでコストカットを図っている。光熱水費や日常使用備品等の節電・節約意識を職員間で共有している。</p> <p>③・昨年導入したシャワー用節水機器の利用により、節水に一定の効果が得られている。</p> <p>(2) 収入の増加</p> <p>① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるため、収入増加の工夫の余地がない。</p>				年度	【参考】R2年度(更新前)	R3年度	R4年度	R5年度	予算	19,800	18,950	19,000	20,449	決算	22,163	20,373	22,464	20,894
年度	【参考】R2年度(更新前)	R3年度	R4年度	R5年度														
予算	19,800	18,950	19,000	20,449														
決算	22,163	20,373	22,464	20,894														
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	35		24															
<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</p> <p>① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。</p> <p>② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。</p> <p>③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p> <p>④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。</p>	15	4	12															
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>①・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。</p> <p>②・外部研修では「zoom」などを活用し、看護師研修や感染症予防研修等のオンライン研修を積極的に受講している。また総合療育センターや北九州発達障害支援センターつばさを活用し、処遇困難な事例に対しての専門的指導と助言を受け、利用</p>																		

- 者に適時適切なアプローチを行えるようにしている。
- ③・地域貢献・交流の一環として、高齢化や公共交通機関の縮小により買い物が困難になった地域の方々に対して、コミュニティバス買物支援（買い物代行）を継続して実施しており、今では欠かせない「地域の足」となっている。
 - ・護岸工事により海の生き物が減り、ヘドロが増える問題が発生している。その対応として「牡蠣殻の素焼き玉でヘドロをなくし藻場をつくる活動」に参加している。牡蠣殻の素焼き玉の基となる粘土団子を312,000個作成し、協力した。
 - ・社会的養護の子どもたちの自立に対する支援として、近隣の児童養護施設の生徒（高校生）を貯蓄援助（卒園後の生活費としての貯蓄）と社会人としての姿勢を学ばせる場として、期間限定で雇用契約（アルバイト）を結び、施設内外の清掃等をお願いしている。施設間の距離も近く「近くて安心できる就労場所」として機能している。
 - ・社会福祉実習生、ボランティア等を新型コロナウイルス感染症予防に心がけながら3名の受け入れを行っている。
 - ④・施設の維持管理について、適切に管理されている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	20	3	12
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

- 【評価の理由、要因・原因分析】**
- ①・利用者の個人情報保護については法人組織で規程・マニュアル・計画を策定し、職員の意識の向上を図っている。
 - ・SNS等での情報発信時に利用者の写真や動画を使用する際は、「個人情報使用同意書」で確認を行っている。
 - ②・スペシャルラーニングを活用して権利擁護意識の向上及び支援技術の向上に努めており、身体拘束適正化検討委員会や虐待防止委員会を定期的実施することで適正な支援を行えるように努めている。
 - ④・適切に管理されていた。
 - ⑤・ヒヤリハットや事故報告を引継ぎ、KYT活動（危険予知トレーニング）を通して、事故防止に努めている。また、月ごとにテーマを決めて、ヒヤリハットや事故の減

<p>少を目的として強化月間を設けている。</p> <p>⑥・「災害時障害者サポートマニュアル」を活用しながら施設独自の防災訓練に取り組んだ。夜間想定避難訓練に夜警職員も参加し、マニュアルに沿った動きを職員と一緒にシミュレーションしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物周りにも赤外線センサーを設置、不審者侵入を防ぐため昼夜問わず門閉、警備会社と契約、各部署にさすまた常備、防犯ステッカーを設置、来訪者に、名簿記入、名札を付けてもらうなど、更なる防犯強化に取り組んでいる。 <p>⑦・感染症等に対する認識を高め、ウイルスを「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」ために引き続きアルコール消毒、飛沫対策等の対策を徹底している。</p>

【総合評価】

合計得点	73	評価ランク	B
【評価の理由】			
<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所・日中一時を積極的に受け入れており、家族介護者の一時的休息（レスパイト）の観点からみても、障害のある人及び障害のある子どもが安心して地域において生活できるように家族の支援に努めている。 ・支援の際には、視覚的に支援を行ったり、主体的に意思決定が行うことができるように配慮したりと利用者の障害特性に応じた支援を提供している。 ・就労系サービスについては、イベントや地域行事の再開に加え、新規作業の受託など工賃向上に努め、一定の成果をあげている。 ・新しく海の環境を改善するボランティアに参加する等、積極的な地域共生に取り組んでいる。 			
【今後の対応】			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、利用者に対して必要かつ適正なサービスが安定的・継続的に提供され、利用者満足の向上に繋がる取組みが行われるよう期待する。また、就労系サービスにおける利用者支援の取組みが、個人の障害特性に応じた支援に繋がることを期待する。 ・本市は令和6年度より北九州市障害者支援計画を策定し、「障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重しあいながら、安心して生き生きと暮らすことができる共生のまちづくり」という基本理念を定めた。今後も障害福祉施策の推進により一層寄与することを期待する。 			

<p>【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】</p> <p>適正に評価されている。</p> <p>今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。</p>
--